

9月になつても暑い日が続く

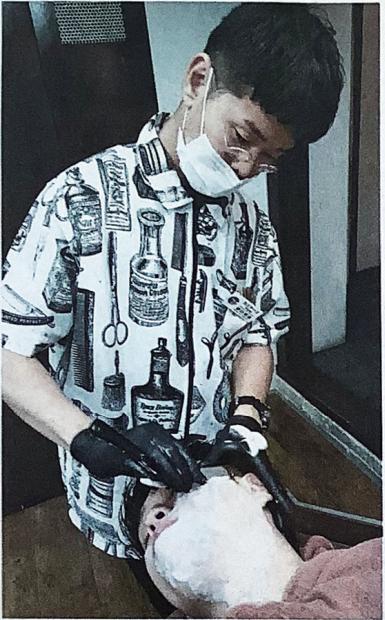
が、今年は新型コロナウイルス対策でマスクをつける必要がある。

ただ、暑い中でマスクをつけると肌が荒れ、ニキビなどを悪化させることも。専門家は「顔全体を丁寧にカミソリでそつて肌の手入れをしてほしい」と話す。

(渡辺達也)

◆カミソリを使った顔そりの手順

- ぬるま湯で顔を洗い、毛を柔らかくする
- 保湿タイプのジェルまたはフォームを顔全体に塗る
- 額、頬などのフェースラインの皮膚を軽く伸ばしながら、毛の流れに沿うようにそる。生え際を自然な形で残せるよう、カミソリを小刻みに動かしながらそるといい
- 眉、鼻、口元をそる。ひげが気になる口の周りは口の中から舌を押し当てて、皮膚を伸ばすとそりやすくなる
- 仕上げにぬるま湯で顔についた毛を洗い流す
- たっぷりの化粧水をしみこませる



顔そりを目的に、美容院から理髪店に切り替える男性客
が増っている(東京都品川区の「髪や五反田本店」で)

* 理髪店で女性も

「肌がスベスベになつて、化粧のノリもいい。ヨガなどの運動をやつた後のような

がすがしさがある」

東京都渋谷区の会社員、三

井郁子さん(26)は、雑誌で美

容に効果があるという記事を

見たのをきっかけに、2年前

から顔の産毛をカミソリでそ

るようになつた。現在は週に

1回、頬や鼻の周囲、おでこ

などをカミソリで丁寧にそつ

ている。マスクをつけていて

も肌のトラブルもなく、効果

を感じている」という。

横浜市の会社員男性(54)は、毎朝風呂に入った際に、頬などのひげをカミソリでそるのが習慣になつた。「以前からやっていたが、在宅勤務が増えて時間ができた今春から毎朝やるようになった。額の産毛は自分でそりにくいので、月1回通う理髪店でそつてもらっている」という。同年代に比べて肌つやはが良いこ

とが自慢だ。

理髪店「髪や五反田本店」(東京都品川区)では、顔そりを目的に、美容院から同店に変える10~20代男性が増えている。5年前から始めた女性用の顔そりサービスも利用客が急増しているといつ。店

長の野口将希さんは「マスクで肌荒れし、口の周囲が赤くなつたお客様が目立ちます。定期的に顔そりすれば、肌がきれいになることが期待できます」と話す。

「どの脂漏性角化症になる」と注意を促す。

古くなつた角質は洗顔では落ちないが、カミソリでひげや産毛をそる際に除去することができる。顔そりをする習慣をつけた方がいい。

赤須さんは「洗顔をした後にジェルなどのシェービング剤をつけ毛の流れに沿ってカミソリを動かしましよう。顔そり後は化粧水で保湿をして」と助言する。

* カミソリで

女性はし字カミソリ(長い

マスクで肌荒れ 対策は「顔そり」

赤須医院(東京都港区)の皮膚科専門医、赤須玲子さんによると、今夏は昨年同時期に比べ、肌トラブルに悩む患者が2~3倍増えたという。多くはマスクが原因だ。「肌への摩擦や汗、冷房にさらされるとによる乾燥などの刺激を受けると、肌を守ろうとして顔の表皮の角質層が厚くなる」と指摘する。マスクをつけると保湿効果があると思われがちだが、表皮についた水分がマスクを外した際に急に蒸発するので、逆に乾燥しやすいという。

角質層が厚くなると、ニキビの原因となるアクネ菌や炎症を引き起こす马拉セチア菌などが、たんぱく質でもある角質を栄養源にして増える。かゆみやニキビなどの肌トラブルにつながるのだ。赤須さんは「角質層を厚いままで放置しておくと、古くなつた角質が蓄積されて、イボやシミな

ものと短いもの)、男性は丁寧にカミソリを用意しよう。シェービング用のジェルまたはフォーム、化粧水を忘れないようつたしたい。

赤須さんは「洗顔をした後にジェルなどのシェービング剤をつけ毛の流れに沿ってカミソリを動かしましよう。顔そり後は化粧水で保湿をして」と助言する。